

令和5年度 秋季企画展

大阪府立弥生文化博物館

令和5年

10月14日(土)
~12月17日(日)

開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

入館料 一般430円/65歳以上・高大生330円

- ▶ 11月18日(土)、19日(日)は関西文化の日のため入館無料
- ▶ 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名様は無料
- ▶ 20名様以上の団体は団体割引料金

- 主催/大阪府立弥生文化博物館
- 後援/泉大津市・泉大津市教育委員会 和泉市・和泉市教育委員会
- 協力/JA全農大阪・東洋魚拓 拓正会

※本展示は飲食・販売をおこなう催しではありません。

泉州地域の食とくらし

— 大阪産(もん)の宝庫 —



愛され続けるもん「名品」



池上曾根遺跡出土イダコ壺 当館蔵

関連イベント

JA全農大阪協力のもと、
11月23日(木・祝)に泉州産の野菜を販売する
マルシェイベントを開催します。

- 時間: 午前11時から午後2時
- 場所: 博物館入口軒下
- 参加費: 無 料

卑弥呼と出会う博物館



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

指定管理者: AKN共同事業体



春菊(きくな) 大阪府



クロダイ(チヌ)拓影: 東洋魚拓 拓正会



泉州の玉ネギ



じゃこごうこ: 北野農園

古くは茅渚(チヌ)と呼ばれた大阪府南部の泉州地域。その前面に広がる海はチヌすなわちクロダイをはじめ多くの魚介類の産地です。

弥生時代や古墳時代の遺跡からみつかるタコ壺や漁網につける土錘などの多くの漁具は、古代から人々が泉州の海を積極的に利用してきたことを物語っています。奈良・平安時代には豊かな海の幸が天皇に献上され、山野では狩猟がなされたと考えられます。

現代でも、大阪湾から多彩な魚介類が水揚げされ、野菜にも知名度の高い水ナス、淡路島に先駆けて栽培がはじまった玉ネギ、全国でも有数の生産量を誇る春菊など、多くの特産品があります。

このような豊富な食材に加え、茶の湯や特産品を使った伝統食など、食文化も大いに発展してきた地域です。

今回の展示では、大阪産(もん)の宝庫である泉州地域の食材や食文化を紹介し、その魅力を発信します。

食とくらし

泉州地域の食とくらし

—大阪産(もん)の宝庫—



復元した準構造船触先(じゆんこうぞうせんへさき) 公益財団法人 大阪府文化財センター蔵

関連講演会

- 時間：午後2時から午後4時
- 参加費：無料(入館料は必要です)
- 定員：各回とも130名(当日先着順 開館時より整理券配付、開演30分前から開場・受付)

第1回 10月21日(土)
考古学からみた泉州の漁業
 積山 洋氏 (元大阪歴史博物館 学芸課長代理)

第2回 11月23日(木・祝)
泉州玉ネギの魅力—吉見早生の復活—
 加藤 寛昭氏 (田尻町事業部産業振興課 課長)

泉州の水ナスについて
 北野 忠清氏 (泉州水ナス・貝塚澤なすの北野農園)

第3回 12月2日(土)
中世堺の食文化—堺環濠都市遺跡出土資料を中心に—
 海邊 博史氏 (さかい利晶の杜 主幹)

第4回 12月9日(土)
泉州の伝統食
 山中 弓子氏 (全国学校調理師連合会 名誉会長)

学芸員による展示解説

左記講演会開催日に特別展示室において学芸員が企画展の見どころを解説します。

- 日時：10月21日(土) 午前11時から
- 11月23日(木・祝) 午前10時から
- 12月 2日(土) 午前11時から
- 12月 9日(土) 午前11時から
- いずれも約1時間
- 参加費：無料(入館料は必要です)

〒594-0083
 大阪府和泉市池上町四丁目8番27号
 TEL 0725-46-2162

ACCESS
 JR阪和線「信太山」駅下車 西へ約 600m
 南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約1,500m



【大阪方面からお越しの場合】
 JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おとり)駅で普通電車にお乗換えください。一部に、鳳駅まで快速、その後各駅にとまる「区間快速」もあります(くわしくは時刻表をご確認ください)。
 大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。
 鳳から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。

国道26号「池上町」交差点南西角
 P普通車72台(無料)

東弥呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
 Museum of Yayoi Culture
 指定管理者：AKN共同事業体



https://yayoi-bunka.com/

大阪府立近つ飛鳥博物館
 令和5年度 秋季企画展

2023年
10月14日(土)
 ~
12月17日(日)

地域に眠る遺跡たち
南河内
 知られざる